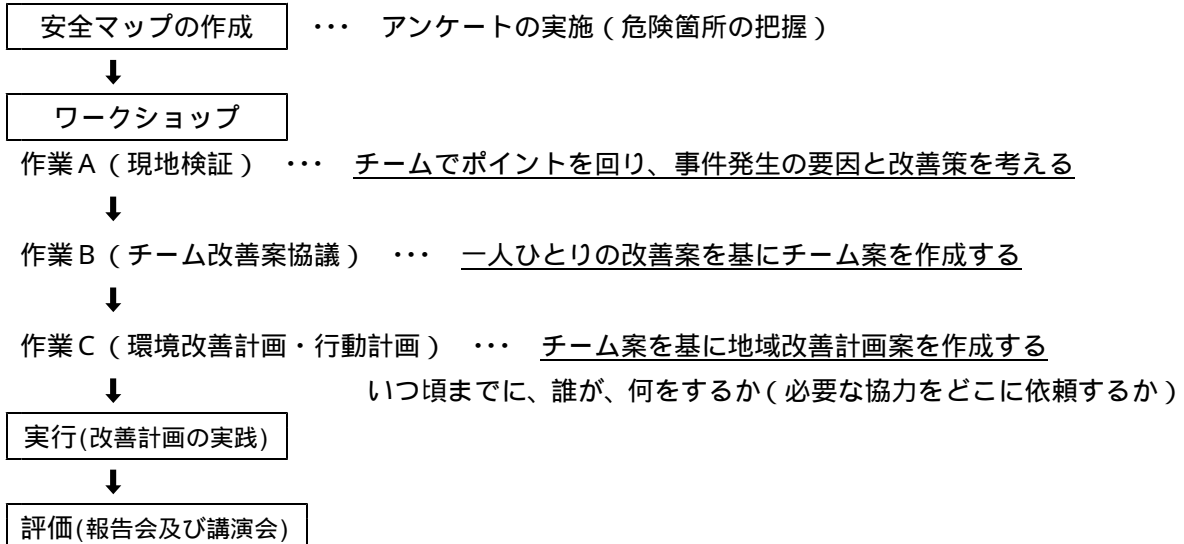


5 地域ぐるみで取り組む学校安全の実践

～安全マップを活用したフィールドワークを実施する～

【概要】 地域安全の見直し・改善を目的とした研修の進め方（対象：教職員、保護者、地域住民）



1 研修のねらい

通学路・公園・空き地等、地域内に潜む危険を探り、対策を考える。具体的には、小学生や中学生からのアンケートをもとに、事件が多発するポイントを明らかにした安全マップを作成し、事件を誘発する環境要因と問題解決の方法を考える。

アンケートを実施し、その情報をもとに安全マップを作成する

2 安全マップの作成

(1) 地図の準備

危険箇所をピンポイントで正確に捉えるために、できるだけ正確で詳しい地図が必要である。市役所の都市計画課等で入手し、アンケート用の地図を作成する。

(2) アンケートの実施

被害の状況を詳細に把握するため、アンケート用紙には

何歳のときに いつ どこで
何人で 何をしているときに

どんな人に どのような被害を受けたか
等を正確に記述させる。

また、類型を

粗暴犯 窃盗犯 風俗犯

に分けて記載させ、決められた記号で地図上に表させる。複数の被害内容も記入できる様式にする。

ア 調査対象

小学校の4年生以上と中学生を対象とする。質問の意味を理解したり、地図に記入したりすることが困難な子どももいると思われるので、保護者に子どもと一緒にアンケートに答えてもらう。

イ プライバシーへの配慮

プライバシー保護を徹底するため、記入は家庭で行い、封筒に入れて提出させる。

開封及び集計作業はPTA役員の限られた者が担当することをあらかじめ文書で知らせておき、保護者の理解と協力を得る。

安全マップを活用したワークショップを実施する

3 安全マップの活用

(1) 安全マップの配布

作成した安全マップを家庭・地域に配布する。配布の際には、このマップが過去の被害データを掲載したものであり、今後別の場所でも犯罪が起こりうることを知らせる。

(2) 安全マップを活用したワークショップ

子どもたちが被害にあった危険箇所を実際に見て回り、事件発生の要因や改善策を検討する活動（これをワークショップと呼ぶ）を家庭、地域に呼びかけて実施する。

ア チームリーダー養成のためのワークショップ講習会



ワークショップ講習会

専門家（大学教授・警察等）からワークショップの進め方や子どもを犯罪から守るための方策等について講義を受ける。受講後、実際に地域内の危険箇所のワークショップを実施する。

イ ワorkshopメンバーの募集

教職員、保護者を中心に地域住民を対象に募集する。また、地域の実情に応じて子どもを参加させてもよい。

ウ ワorkshop

(ア) 現地検証～チーム改善案のまとめ

チームに分かれて実際に現地を視察する。多くの危険箇所から、風俗犯の比較的新しい事例の数か所をピックアップし、回る。1チームが回る箇所を少なくして、その後の協議に時間をとり、チームごと

の改善案をまとめて、危険箇所1か所について1つの改善案（原案）をつくる。



現地検証

(イ) 地域環境改善計画・行動計画の作成

原案から具体的、実践的な改善計画を作成し、改善を、誰が、いつ頃までに、どこに働きかけるかを決定する。

主な改善策

- ・ 樹木を伐採する等見通しの確保
- ・ 防犯灯及び看板設置の依頼
- ・ 登下校路の見直しと改善
- ・ 『子ども110番の家』の拡充
- ・ 警察にパトロール強化の依頼
- ・ 安全面を考慮した公園の設計
- ・ 子どもの危険予測・回避能力の育成
- ・ 地域の安全意識の高揚
- ・ ながらの見守り（犬の散歩、配達等）

4 研修の評価～ワークショップ報告会・講演会 アンケート結果やワークショップ等、地域を安全にするための取組の経過及び地域環境改善計画の報告をする。

また、専門家による講演会を実施する場合は、今回のワークショップの評価、目的、成果等についての話を聞く。



報告会及び講演会

アンケート用紙 例

(赤エンピツまたは赤ボールペンで記入してください。)

[1] あなたのことにしておたずねします。

(1) あなたは何年生ですか。 _____ 年生 (2) あなたの性別はどちらですか。 _____ をつけてください。 男 女 (3) あなたの家族が今住んでいるところに来てから、何年ぐらになりますか。 _____ 年

[2] あなたが「被害にあった」、あるいは「被害にあいそうになった」事件のことにしておたずねします。例と注意をよく読んで、下の表に書いてください。

《注意》質問1で「ある」に _____ をつけたら、質問(2)(3)(4)(5)(6)(7)に進んでください。

質問(1)
被害にあったことがありますか

あなたは次のようなこと
あったこと、あいそうになっ
たことがありますか。
あてはまるほうに _____ を
つけてください。
(_____ 、 _____ それぞれに答え
てください。)

質問(2)
どのような被害にあいま
したか

質問(1)で被害にあった内
容を少し説明してください。
なお、何回も被害にあったこ
とがある人は続けて下に書いて
ください。

質問(3)
いつですか

それはあなたが何歳の
いつごろのことですか？

質問(4)
どこですか

それはどこであいま
したか。ひとつ選んで記号
を書いてください。
あ 公園 い 道路
う 駐車場 え 神社や寺
お 校庭 か 建物の中
き 田畑 く 川や河原
け あき地 こ 山林
さ その他(_____)

質問(5)
その時、何をしていましたか

その時あなたは何を
していましたか。
ひとつ選んで記号を書
いてください。
ア そこで遊んでいた
イ そこで友だちと待ち
合わせていた
ウ そこで休んでいた
エ 学校の登下校の途
中だった
オ 買い物の行き帰りの
途中だった
カ 塾や習いごとの行
き帰りの途中だ
った
キ その他(_____)

質問(6)
その時、何人でいま
したか

その時、自分
もふくめて何人
でいましたか。
人数を数字で
書いてください。

質問(7)
相手の人はどんな人
ですか (相手
がわからない場合は記入
する必要はありません)

見たことのある人
ですか、ひとつ選
んで記号を書い
てください。
あ よく見かける人
い たまに見かける人
う 見たことがない人
え その他(_____)

相手のおよその感
じをひとつ選
んで記号を書い
てください。
イ 小学生ぐら
い
ロ 中学生ぐら
い
ハ 高校生ぐら
い
ニ 大人(男)
ホ 大人(女)
ヘ 老人
ト その他(_____)

知らない人におどされたりなぐられ
たこと。または、おどされそうにな
ったり、なぐられそうになったこと。
ある() _____ →
ない() _____

| | | | | | | | |
|---------------|----------------|----------------|---|---|----|---|---|
| あなたが 書くところ | (例) おじさんになぐられた | 11歳 12月 午前9時ごろ | い | エ | 3人 | い | ロ |
| | ・ _____ → | 歳 月 時ごろ | → | → | → | | |

ちかんにあったこと。またはあいそ
うになったこと。
ある() _____ →
ない() _____

| | | | | | | | |
|---------------|------------------------|--------------|---|---------|-------|---|---|
| あなたが 書くところ | (例) 変なおじさんに追いか けられた | 8歳 5月 午後5時ごろ | け | キ(犬の散歩) | 自分ひとり | う | ニ |
| | ・ _____ → | 歳 月 時ごろ | → | → | → | | |

物を盗まれたこと。または盗まれ
そうになったこと。
ある() _____ →
ない() _____

| | | | | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---|---|----|---|---|
| あなたが 書くところ | (例) 自転車を盗まれた | 9歳 8月 午後1時ごろ | あ | ア | 5人 | う | ハ |
| | ・ _____ → | 歳 月 時ごろ | → | → | → | | |

質問(8)

「地域の地図」に、質問(4)で答えた場所を地図の例のように _____ × で印をつけてください

(赤エンピツまたは赤ボールペンで記入してください。)

(_____ おどされたり、なぐられたりしたところは _____ を、 _____ ちかんにあったところは _____ を、 _____ 物を盗まれたところは _____ × をそれぞれ書いてください。)

[3] 子どもが犯罪にあわないで安心して生活できる地域にしていけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。自由に意見を書いてください。

(_____)

危険箇所の改善シート（環境改善計画・行動計画）記載例

地域学校等安全推進委員会

| ブロック | ポイント | NO | 2 | 場所 | 交差点(地下道) | | |
|------------|---|----|---|----|---|--|----|
| 被害状況 1件 | 1 7歳の女兒が、15時ごろ、2人で下校中、地下道で若い男に身体をさわられた。 | | | | | | |
| 犯罪種類 | <要因> どうして危険なのでしょう | | <改善案> どうしたら安全になるのでしょうか | | <依頼場所> 主に誰がやる | | |
| 風俗犯 | 1 地下道について ・昼間は少し暗い ・人目が少ない ・非常ボタンはあるが3か所しかない ・非常ボタンが押しにくい位置にある ・赤色回転灯が2か所しかない ・自転車に乗って通るので歩行者が危険 2 歩道から ・歩道橋が死角になっている ・車(人の目)は多いが歩行者が少ない ・地域外の人を通りが多い | | 小学生は登下校時は通らないよう指導する 下校後通る時は各家庭で安全指導する 非常ボタン、赤色回転灯等の改善 ア 非常ボタン、赤色回転灯を増やす イ 警察への非常ボタン連動直接通報装置の設置 ウ ブザーが外にも聞こえるようにする エ ボタンを押したら「110番して!」「たすけて!」等を表示する、表示板を外に設置する オ 人に感知して点灯するような防犯表示板を外に設置する 緊急の場合は非常ボタンを使うように指導する 地域で見守っているという見守り看板の設置 自転車は押して通る(交通安全面) | | 住民一人ひとり、学校 住民一人ひとり 行政、(地下道管理者) 住民一人ひとり 自治会 住民一人ひとり 校区自治会連合会長さんに依頼する | いつ頃までに すぐに すぐに 1年から 3年ぐらい (段階的に) すぐに 1年ぐらい すぐに | 備考 |
| 改善されたところ | 現状写真 | | | | | | |
| | | | | | | | |